

My CHRONICLE

私の仕事

転換期や、思い出に残る過去の案件を伺います。

Nネット本部理事 北日本支部会長
株式会社三浦板金製作所
代表取締役会長

三浦 孝太郎さん

KOUTARO MIURA



PROFILE

昭和33年に山形県立山形工業高等学校建築科を卒業後、父親が創業した三浦板金製作所に就職。以来、64年間同社一筋。中国パール販売、イオンモール天童店、イオンモール新利府店、イオンモールいわき小名浜店、宮城県内のプロロジスパークなどを手がける。1978年9月、代表取締役社長就任。2013年6月、代表取締役会長就任。

仕事は楽しく 遊びは真剣に

DATA

イオンタウン郡山/
パワーシティ郡山建設 工事

所在地 福島県郡山市
概要 延床面積39,498.32㎡ S造 地上2階
工事期間 1998年3月～1998年11月

WHY I CHOSE THIS

父親が根っからの板金職人だったので何のためらいもなく、すぐに家業を継ぎました。以来64年間一つの道を歩み続けてきました。そして、仕事をする上では、第一に安全、第二に品質、第三に工期、第四に人間関係を大切に考えてきました。西松建設様との仕事の中で最も記憶に残っている現場は、イオンタウン郡山の建設工事です。当社にとっては最大規模の大工事、かつ大突貫で工期の短い工事でした。敷地が化学工場跡地だったため、地面を掘り返すと煙が出てきて、さらに発火までするような状態で、今ではとても考えられないような環境下での工事でした。あるときは舗装工事を始めると、そこに作

業員の乗用車が数台残っていて、移動するように指示してもなかなか動かない。「邪魔だからブルで(乗用車を)押し倒せ!」といった血の気の多い指示が飛びなど、気合の入った現場での仕事はとてもやりがいも感じました。

ただ、屋根工事で施工している最中、職人の一人が心筋梗塞で急逝してしまいましたが、屋根から落下したケガ等ではなかったために病死扱いとされ、労災事故にならなかったことは今でも忘れられない出来事です。

大規模な現場だったので、数百人の作業員が働いていましたが、西松建設さんの管理が行き届いていたので、所長様や現場の方々とのコミュニケーションはよく取れていて、何か問題があったときも相談がしやすく、アットホームな雰囲気の中

で喜働を覚えました。

この現場を経験して、自分でもこのような人間関係を構築せねばと勉強になりました。その後も親子共々三代にわたってお世話になっており、西松建設様の仕事のウエイトをとても重要に思っております。

FOR NISHIMATSU

お互いに仕事で生業を立てているので、仕事は一生懸命やり、合間にしっかり趣味を味わいましょう。私は趣味で旅のスケッチを続けております。仕事の区切りとなったところから趣味を活かしてもらいたい。好きなことは現役から続けないと味気ないものです。